

1 新たな価値を創造する産業DXプロジェクト

概要

デジタル技術を活用した生産性の向上や新たなビジネスモデル・サービスの創出を支援するとともに、今後大きな成長が見込まれるデジタル関連企業の誘致の推進、デジタル社会を担う人材の育成、技術流出防止等の経済安全保障対策の推進等の取組を通じて、本県の産業力を大きく伸ばす

重点策

- 1 産業におけるデジタル化の加速
- 2 航空機産業・宇宙ビジネスへの挑戦
- 3 水中次世代モビリティ関連産業の振興による新たなイノベーションの創出

(1) 成果指標の状況

成果指標	進捗状況	指標数	主な指標
	★★★★★(目標を達成)		
	★★★★ (計画を上回る)	6	先導的プロジェクトによる未来技術導入件数 等
	★★★ (ほぼ計画どおり)	1	光ファイバの世帯カバー率
	★★ (計画を下回る)		
	★ (計画から大幅に遅れ)	1	航空機・宇宙機器産業での受注獲得金額

(2) 県民実感に係る調査結果

調査区分	調査項目	そう思う	どちらかといえばそう思う	そう思わない
県民実感度調査 (%)	デジタル技術を活用した県内企業の新たな産業やビジネス創出の取組が進んでいると思いますか。	17.4	53.1	27.2

※そう思う：「そう思う」・「どちらかといえばそう思う」の計、そうは思わない：「そうは思わない」・「どちらかと言えばそうは思わない」の計(以下同じ)

(3) 主な取組と成果

◆産業におけるデジタル化の加速

- 未来技術の導入・利活用や、新たな製品・技術・サービス等の創出に向けた取組への一貫支援を実施。(R6 年度支援数 3 件)

[支援事例]

自在なレイアウトが可能な協働型パレタイジングロボットシステムの開発

複合現実 (MR:Mixed Reality) と時空間データ基盤による統合型点検情報管理システムの開発

設備の予知保全に資するエッジ AI ユニットの開発

- 中小企業のデジタル経営転換を促進するため、段階に応じた補助制度により、デジタルツールの導入から情報処理システムの構築、先駆的な取組に必要な設備導入に至るまで、企業のニーズや課題に応じた効果的な支援を実施し、**168件**(R6 年度)の導入を支援。

[中小企業DX推進補助金(先駆型)の支援事例]

金属製品製造業の運搬の無駄を削減するため、「自動搬送ロボット」の導入支援

- 未来技術を活用した新サービス等を創出する企業に対して、専門家派遣や補助金による支援により、**中小企業のIoT導入率を19.3%(R3 年度)から27.3%(R6 年度)に引き上げ。**

- **やまぐちDX推進拠点「Y-BASE」**で、AIを活用した自動議事録作成システムや Web 予約システムの実装等の支援を実施し、148 件の課題を解決した。また、AI の利活用による業務変革や新事業創出の推進に向け、生成 AI アカウント貸出による実証環境の提供やコ

ンサルティングによるハンズオン支援など、**Y-BASE において生成 AI の利活用支援を強化。**

- 官民連携の**デジタルコミュニティ「デジテック for YAMAGUCHI」**における共創活動を通じた課題解決の取組を促進。

(事例) 獣害マッププロジェクト、防府コミュニティフリッジプロジェクト 等

- AI やデザイン思考など **DX 創出に必要な技術・スキルを習得する実践的研修**を実施し、行政・企業等の内部で DX を推進することができる人材の育成・確保を推進（デジタル技術を活用できるリーダー人材の育成人数 144 人）。
- **「山口県デジタル実装推進基金」**を活用して、産業分野における業務効率や生産性の向上につながる取組への支援など**デジタル実装の取組を推進。**
- アウトリーチ活動による技術流出防止意識の醸成

技術流出防止意識の浸透率 97.5%（R6 年度）

- 先端技術情報を保有する県内企業・学術機関における危機意識向上及び自主的対策の促進を目的として、有識者を招へいた**経済安全保障セミナー**を開催。

◆航空機産業・宇宙ビジネスへの挑戦

- 航空機・宇宙機器産業において、試作品作成経費の助成、展示会出展支援、新商品の研究開発に対する補助を行い、航空機・宇宙機器産業への参入を促進し、**受注獲得金額 70,600 万円**（R4～R6）を達成。
- 宇宙利用産業の振興を図るため、山口県産業技術センターに設置した「衛星データ解析技術研究会」や「宇宙データ利用推進センター」において、技術者の育成に取り組むとともに、衛星データを活用したソリューションの研究開発を支援。
- 宇宙利用産業の振興を図るため、山口県産業技術センターに設置した「衛星データ解析技術研究会」や「宇宙データ利用推進センター」において、技術者の育成に取り組むとともに、衛星データを活用したソリューションの研究開発を支援。
- 県が支援してきたスタートアップ企業による経済産業省の大型実証事業の採択をはじめ、衛星データの活用に関する **21 件のプロジェクトが国の実証事業に採択**（H29～R6）。

◆水中次世代モビリティ関連産業の振興による新たなイノベーションの創出

- 水中次世代モビリティ関連産業の振興を図るため、山口県産業技術センターに設置した「水中ロボット技術研究会」において、セミナーやワークショップを開催し、技術認知度の向上や企業間の技術交流を促進するとともに、事業化に向けた技術シーズの獲得を目指してプロジェクトを組成し、国事業を含む **11 件の実証を実施**（R5～R6）。

[実証事例]

- ・ ASV を用いた有害赤潮の早期発見手法に関する実証実験
- ・ 操作性を飛躍的に改善した ROV の港湾施設点検における有効性検証
- ・ ASV による水域構造物の水中・空中画像統合 3D モデル化技術に関する実証実験
- ・ ビーチ清掃ロボットの实証実験
- ・ 水中構造物の 3D モデル作成に資する水中画像取得手法に係る実証実験 等

(4) 総評

総
評

デジタル技術の実装に向けた補助制度や専門家派遣等の支援により、企業における実装事例が創出されるなどの成果が上がっており、県内中小企業の I o T 導入率についても全国水準（推計値）に追いつきつつあるもののまだまだ高いとは言えない。デジタル技術が急速に進展する中、AI の利活用による業務変革など、DX の実現に向けた一層の支援が求められている。

(5) 課題と今後の展開方向

課題と今後の展開方向

◆産業におけるデジタル化の加速

- デジタル技術の急速な進展に対応するため、引き続き、新たな実証事業や実装支援を実施することにより、生産性向上等に取り組む事業者を支援していく必要がある。
- 多くの県民の皆様が、デジタルによって社会や暮らしが変わったと真に実感できるよう、「山口県デジタル実装推進基金」を活用したデジタル実装の取組の更なる推進を図るとともに、自動運転技術など先進技術の導入やデジタルによる中山間地域等の暮らしの充実など、人口減少に伴う地域の社会課題の解決に向けて、実装ハードルの高い取組にも積極的に挑戦し、その取組モデルを県内に普及していく必要がある。
- 関係機関・団体を通じた先端技術保有企業の実態把握を推進しつつ、企業や学術研究機関のニーズに応じたより説得力のある手法・素材を用いた情報提供活動が必要である。

◆航空機産業・宇宙ビジネスへの挑戦

- 他産業への波及効果の高い航空機・宇宙機器産業において、付加価値の高い大型案件を受注するための体制強化に向けた支援を行い、企業の成長を後押しする取組が必要である。
- 宇宙利用産業の振興に向けては、ソリューション開発における技術的支援に加え、事業化・社会実装までの各段階におけるニーズに対応した支援が必要である。

◆水中次世代モビリティ関連産業の振興による新たなイノベーションの創出

- 水中次世代モビリティ関連産業の振興に向けて、企業等による研究開発や事業化を促進するため、「水中ロボット技術研究会」を中核として、ニーズ・シーズの発掘やネットワーク強化等に向けた更なる取組が必要である。

(参考) 令和7年度の主な新規・拡充取組

新 やまぐち情報関連企業等連携促進事業

デジタル技術を活用し、多様な産業分野での課題解決や価値創造に貢献する県内情報関連企業の経営力強化を図るため、本県独自のプラットフォームを構築し、県内のデジタル関連企業同士や異業種間の連携強化を促進

新 生成A I 利活用支援強化事業

高度専門人材による生成A I 活用支援や、スタートアップ企業等と連携した先端事例創出を通じて、企業等の業務変革を推進